

令和6年度愛媛県地域日本語教育体制づくり事業報告書

国補助事業（地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業）に基づき、本県で実施する標記事業について、今年度の取組を次のとおり報告します。

1 取組の方向性

県地域日本語教育推進計画における計画期間は、計画の折り返しを迎えたことから、取組の重点項目である「地域日本語教育の連携・協力体制をつくる」、「地域日本語教育に関わる人材を増やす」、「多様なニーズに対応する日本語学習の機会をつくる」といった3つの基礎が着実に出来つつあると認識しており、これまでの取組に加え、新たに地域日本語教育関係者との事例共有・関係構築や日本語教育の参照枠に基づく日本語教育プログラム実施に向けた検討等を行った。

2 取組の内容

（1）「地域日本語教育の連携・協力体制をつくる」ための取組

①令和6年度愛媛県地域日本語教育に係る情報交換会（地域日本語教育に係る四国四県シンポジウム）の開催

○目 的 地域日本語教育に係る国の施策や四国各県が実施する国の補助事業の取組状況を共有することで、関係者のネットワークを構築し、事業の推進につなげる。

○日 時 令和7年2月13日（木）13:30～16:30

○場 所 愛媛県生活文化センター（松山市）

○内 容 ・基調講演

内容：国内の日本語教育の動向

登壇：文部科学省総合教育政策局

日本語教育課 北村 祐人 専門官

・事例報告

内容：四国各県における補助事業の実施状況

登壇：各県補助事業主管課、

各県国際交流協会（高知県を除く）

・意見交換

内容：パネルディスカッション形式の質疑応答

登壇：事例報告と同様に実施

○参加者 41名（国・行政12名、国際交流協会8名、日本語教育関係者10名、そのほか11名）

○結 果 ・文部科学省から、地域日本語教育に係る国の政策、それぞれの主体に求められる役割、活用可能な制度等についての説明があった。

・各県担当者は、在留外国人の状況や取組状況等についての報告を行なうとともに、お互いの取組や今後の取組に向けた意見交換をおこなった。

・参加者は、シンポジウムの内容について、自分が取組みたいことや実施可能な取組みについて意見交換を行った。これにより、幅広い主体の取組みについて理解を深め、今後のネットワーク形成・強化に繋がった。



②東予地域を対象とした情報交換会（予定）

- 目的 地域日本語教育の課題については、地域差があることから、地域で抱える課題について話し合い、参加者が課題意識を共有することで、地域課題の改善やネットワーク形成に繋げる。
- 日時 令和7年3月16日（日）10：00～12：00
- 場所 新居浜市総合福祉センター（ふれあいプラザ）
- 内容 地域の現場で、「子どもの日本語学習指導・支援」に関わっている団体（にいはま日本語の会、西条市立西条小学校、創作クラブGrian）の取組事例を紹介するとともに、参加者を交えた意見交換を行う。

（２）「地域日本語教育に携わる人材を増やす」ための取組

①異文化間コミュニケーション講座の開催

- 目的 日本人住民と外国人住民がお互いを認め合い、対等な関係で生活できる環境の整備に繋げる。
- 内容 県民（特に行政職員）が在住外国人の現状を知るための情報提供を行い、多文化共生社会を目指したコミュニケーション支援のひとつである「やさしい日本語」の普及啓発を図る。

【東予地域】

（西条市）

- ・日時 令和7年2月4日（火）13:15～15:00
- ・場所 西条市役所
- ・講師 土井 美智子 氏
（新居浜市国際交流協会 事務局長）
- ・参加人数 36名（西条市職員）



【中予地域】

（松山市）

- ・日時 令和6年11月24日（日）10:00～11:30
- ・場所 松山花園町通り
- ・講師 （一社）えひめ日本語教育人財ネット
- ・参加人数 83名（「地球人まつり@まつやま花園日曜日2024」参加者）



【南予地域】

（伊方町）

- ・日時 令和6年6月18日（火）13:30～15:30
- ・場所 伊方町民会館
- ・講師 高橋 志野 氏（愛媛大学国際連携推進機構教授）
- ・参加人数：28名（伊方町職員）

（内子町（予定））

- ・日時：令和7年3月18日（火）13:30～15:30
- ・場所：内子町民会館
- ・講師：高橋 志野 氏（愛媛大学国際連携推進機構教授）

- 結果 ・行政職員向けの講座は実施件数が増加するとともに、参加者から「外国にルーツのある方と窓口や電話で話すことがある場合に実践が可能であると思った」等の意見があり、意識啓発に繋がった。
- ・県民向けとしては、イベント会場で「やさしい日本語」のパンフレット配布や子どもを対象としたワークショップを行った。

②日本語教育人材の養成・育成を目的とした研修会

- 目的 県内では、地域日本語教育に関わる人材が不足しているが、日本語教師養成課程等を設置する教育機関がないことから、地域日本語教育に関わる人材の掘起し、養成等に取り組む。
- 内容 初任者に対しては、多文化共生や外国人住民への関わり方を理解するための研修を行った。また、地域で活動をしている日本語学習支援者に対しては、「日本語教育の参照枠」に基づく生活can doの活用や、多様な学習者のニーズに対応するための研修を行い、地域日本語教育への関わり方の段階に応じた研修を実施した。

【令和6年度愛媛県地域日本語サポーター研修会】

- ・対象 初任者（これから日本語学習支援に携わりたいものもしくは日本語学習支援経験が浅いもの（概ね2年未満の者）など）
- ・内容 県内の外国人の現状や日本語学習について知るとともに、外国人と日本語でコミュニケーションする方法を学ぶ。
- ・参加人数 40名（中予のみ16名、南予のみ20名、どちらにも参加4名）
（中予地域）
 - ・回数 5回
 - ・日時 6月22日、7月6日、7月21日、7月27日、8月10日（全て土曜日）
13:00～14:30（6/22、7/21）、
10:30～12:00（7/6、7/27、8/10）
 - ・場所 IYO夢みらい館（伊予市）
 - ・講師 向井 留実子 氏
（〔一社〕えひめ日本語教育人材ネット代表理事）



（南予地域）

- ・回数 3回
- ・日時 7月28日、9月29日、10月19日
（全て土曜日）13:30～15:00
- ・場所 大洲市役所（大洲市）
- ・講師 奥村 三菜子 氏
（NPO法人YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち 副理事）



【令和6年度愛媛県地域日本語スキルアップ研修会】

- ・対象 経験者（日本語教師もしくは支援者として現在授業を行っているもの（約3年以上）や活動を再開したいもの など）
- ・回数 6回
- ・日時 10月26日、11月9日、11月30日、12月7日、12月21日、1月25日
（全て土曜日）13:00～16:00
- ・場所 第1回：愛媛県民文化会館、
第2回～第6回：愛媛県国際交流センター
- ・内容 ・「日本語教育能力を向上させるためのワークショップ」（全3回）
講師 奥村 三菜子 氏
（NPO法人YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち 副理事）
・「ICT活用ワークショップ」（全2回）

講師 深田 絵里 氏（総括コーディネーター）

- ・「就労者のための日本語教育」（全1回）

講師 三原 加津子 氏

（〔一財〕日本国際協力センター関西支所 主任日本語講師）

- ・参加人数 11名（第1～第5回）、20名（第6回）

- 結果
- ・地域日本語教室の空白地域での人材養成に繋げるため、愛媛県地域日本語サポーター研修（以下「サポーター研修」と言う）を、前年度のオンライン日本語教室の対象地域で実施した。
 - ・オンラインを活用した日本語教室に、サポーター研修受講者14名（前年度の受講者を含む。）が、日本語会話ボランティアとして参加するなど、人材の掘起しに繋がっている。
 - ・サポーター研修には、外国人雇用企業の従業員や地元の高校生など、愛媛県地域日本語スキルアップ研修会（以下「スキルアップ研修」と言う）には、活動を休止している学習支援者など幅広い参加があった。
 - ・今年度のスキルアップ研修では、県内在住の外国人の多くを占める就労者への日本語学習支援やICT活用など県内において必要とされるスキルの向上に繋がる研修を行った。

（3）「多様なニーズに対応する日本語学習の機会をつくる」ための取組

①オンラインを活用した日本語教室の実施実験

- 目的
- ・地域日本語教室の空白地域の行政と協力して実施することにより、その地域における継続可能な取組みのあり方を探る。
 - ・日本語会話ボランティアや対面による交流会等を通じ、地域日本語教育の空白地域における人材掘起しに繋げるとともに、学習者同士や日本人住民との交流を通じ、外国人住民が地域で孤立せず、日本人住民と共に学び合える環境の創出を目指す。

- 内容
- ・オンラインによる日本語学習
 - ・日本語会話ボランティアの授業参加
南予 16名 ※うちサポーター研修受講10名、地域在住6名
中予 10名 ※うちサポーター研修受講4名
 - ・オリエンテーション、交流会は対面実施
交流会 南予 ・大洲市役所でボッチャ等のゲームで交流
・参加人数 36名
中予 ・松前町産業まつり「たわわ祭」等で交流
・参加人数 25名
 - ・Facebook活用、学習ふりかえりノート配布

【南予地域（八幡浜市、大洲市、伊方町）】

- ・期 間 令和6年7月7日～10月6日
（毎週日曜日に実施）
- ・回 数 13回
※オリエンテーション、交流会、ふりかえりを除く
- ・クラス数 2クラス（A1クラス及びA2クラス）



- ・時 間 19:30～20:45
- ・申込者数 A1クラス12名、A2クラス12名
(八幡浜市2名、大洲市22名、伊方町0名)
- ・担 当 ・A1クラス 教師2名(主担当1名、副担当1名)
・A2クラス 教師3名(主担当1名、副担当2名)
+ICT補助2名(大学生:外国人1名、日本人1名)

【中予地域(松前町、松山市の周辺部)】

- ・期 間 令和6年9月8日～11月24日
(毎週日曜日に実施)
- ・回 数 11回
※オリエンテーション、交流会、
ふりかえりを除く
- ・時 間 17:30～18:45
- ・申込者数 14名(松前町2名、松山市12名)
- ・担 当 教師3名
(主担当1名、副担当2名、ICT補助を兼務)



- 結果
- ・試行的に実施後、継続実施を希望する場合は、市町による財政負担を求める旨の説明を行った上で実施している。令和7年度の実施に向けて、複数の市町が負担金支出のための予算要望を行っている。
 - ・当初、需要を疑問視していた市町から、オリエンテーションの対面実施の提案があるなど積極的な関わりが生じている。
 - ・南予地域では、交流会等を通じ、行政間、行政と学習者雇用企業との交流が生まれており、連携・協力体制の構築に繋がっている。

②外国人のための生活の日本語教室

- 目 的 県内の在留外国人は、そのほとんどが日本語教室のある市街地から離れた地域に散在しており、教室へのアクセスが難しいことから、県内全域を対象としたオンライン日本語教室を実施し、居住地に関係なく日本語教育が受けられる環境を整備する。

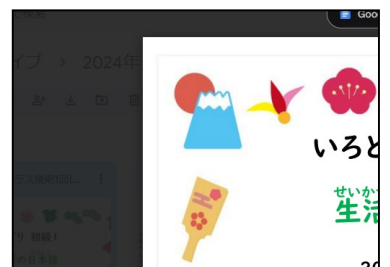
- 期 間 ・前期:令和6年10月19日～12月21日
・後期:令和7年1月18日～3月15日
(毎週土曜日に実施)

- 回 数 8回 ※オリエンテーションを除く

- クラス数 2クラス(初級1クラス及び初級2クラス)

- 時 間 19:30～21:00

- 申込者数 ・前期:初級1クラス22名、初級2クラス22名
(参加者内訳)今治市1名、新居浜市2名、西条市10名、
四国中央市3名、松山市14名、東温市1名、
八幡浜市5名、大洲市1名、西予市7名
・後期:初級1クラス29名、初級2クラス25名(R7.3.1現在)
(参加者内訳)今治市5名、新居浜市2名、西条市1名、
四国中央市2名、松山市20名、松前町2名、
宇和島市2名、八幡浜市1名、大洲市4名、
西予市2名、愛南町12名、不明1名



- 担 当 教師6名

- その他
・Facebook利用
・テキスト配布（国際交流基金「いそどろ生活の日本語」利用）
- 結果
・日本語教室のある市町を含め幅広い地域から参加があり、教室があっても通うことができない学習者の存在など、オンラインでの日本語教育の実施に対する需要の把握ができた。
・東予、中予（島しょ部含む）、南予から講師を登用するなど、県内全域での人材育成に繋げている。

③「日本語教育の参照枠」に基づく日本語教育プログラム実施に向けた検討

- 目的 「日本語教育の参照枠」に基づく生活can doを活用した日本語教育プログラムの開発に取り組むことにより、多様なニーズに対応する日本語学習機会の創出につなげる。
- 内容
・ワーキンググループを開催（8回）し、コーディネーターと日本語教育の専門家等が、日本語教育プログラム開発についてや、教育プログラム開発後の運用に関する人材育成等について検討した。
・令和6年度現職日本語教師研修プログラム普及事業（日本語教育プログラムデザインコース）を活用し、「生活」に関する日本語教育プログラム実施に向けた人材育成に取り組んだ。
- 結果
・本事業で提供する日本語教育プログラムが初級レベルに限られることから、継続学習を希望する学習者のニーズに対応するため、中級レベルの教育プログラムの検討を行った。
・本県の課題に対応するために必要な研修等について、一貫性を持った実施内容とするために必要な検討を行った。

④地域日本語や多文化共生についての情報発信

- 目的 日本語教育に関する情報を一元的に発信することで、地域日本語教育の情報に外国人自らや支援を行う日本人がアクセスしやすい環境を整備する。
- 内容
・南予地域における令和6年度地域日本語教育体制づくりで実施した取組みについて、受講者、行政職員、受講者の所属企業関係者、日本語会話ボランティア等取材した事例集を作成し、令和7年度の情報交換会（南予地区）において、関係者と共有するほか、広く公開することを予定している。
・地域の日本語教室の活動状況を収集し、（公財）愛媛県国際交流協会のホームページで広く情報発信する。

3 愛媛県地域日本語教育推進計画の進捗状況

推進計画上の 取組及び事業内容	実施 主体	取組 年度	R5年度までの 取組状況	R6年の度取組
○地域日本語教育の連携推進体制をつくる				
・総合調整会議の設置	県	R4～R8	R4：3回、R5：2回	2回（書面を含む）
・推進計画の策定	県	R4	策定済	
・コーディネーター配置				
調査・推進計画策定コ ーディネーター	協会	R4	R4配置	
総括コーディネーター	協会	R5～R8	配置（1名、R5.4～）	
地域日本語教育コーデ ィネーター	協会	R5～R8	中予 配置（2名、R6.2～、R7.2～）	
			南予 配置（1名、R5.4～）	
・日本語教育の実施に関 する連携のための取組	協会 県	R5～R8	・情報交換会 （東予、中予、南予）	・情報交換会 （東予、中予）
○地域日本語教育に関わる人材を増やす				
・市町への意識啓発				
体制づくり事業に関す るセミナー	R4 協会 R5～ 協会 県	R4～R8	(R4) ・地域日本語教育体制づく り研修会 ・日本語学習支援団体によ る意見交換会 ・地域日本語教育について 知るセミナー	実施なし
異文化間コミュニケーション講座	協会	R4～R8	R5：南予1回	・東予1回 ・中予1回 ・南予2回
・日本語教育人材に対す る研修				
地域日本語教育コーデ ィネーター候補者育成	協会	R4～R7	R5:地域日本語教育コーデ ィネーター研修受講	教育プログラム作成のため の研修受講
日本語教育人材のスキ ルアップ研修	協会	R5～R7	・初任者対象 （中予） ・経験者対象（東予） ・オンライン勉強会	・初任者対象 （中予、南予） ・経験者対象（中予）
ICTを使った地域日本 語教育のセミナー	協会	R5～R7	実施なし	スキルアップ研修で実施

○多様なニーズに対応する日本語学習機会をつくる				
・地域日本語教育の実施	協会	R4～R8	・空白地域対象 (2地域)	・空白地域対象 (2地域) ・生活のための日本語教室 (全県を対象)
・地域日本語教育に付随 して行われる取組	協会	R4～R8	・対面交流会 (2地域) ・日本語会話ボランティア 参加 (1地域)	・対面交流会 (2地域) ・日本語会話ボランティア 参加 (2地域)
・日本語教育に関する広 報活動	協会	R6～R8		・R7年度の情報交換会 等で配布する事例集作成 ・ホームページでの日本語 教育に関する情報発信
教材作成				
「日本語教育の参照 枠」等の活用の検討	協会	R6～R8		・ワーキンググループによ る検討
ICTを活用した日本語 教材等の研究	協会	R5～R8	・オンライン日本語クラス に付随して実施	・オンライン日本語クラス に付随して実施